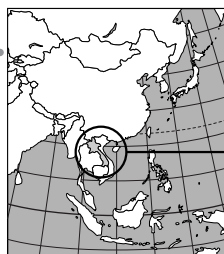


# ユニセフ子ども物語

## 地球に生きる子どものくらし

Laos

ラオス



# 人形劇で伝えたい!



## 楽しい子どもクラブ活動

インドシナ半島にあるラオスは、周囲をベトナム、中国、ミャンマー、タイ、カンボジアの5つの国に囲まれた小さな国です。ラオスの北部はベトナム戦争の時、アメリカ軍により、大量の爆撃を受けたために不発弾が残っていて、今も子どもが被害にあっています。

北部の山あいの町に住むヴァンソンは15歳の中学生。

ヴァンソンの住む町に、ユニセフの支援で「子ども文化センター」がつけられました。ここでは8歳~18歳の1800名近い子どもたちが楽しそうにこの地方のさまざまな伝統文化—歌や踊り、太鼓、人形劇や織り物、遊びを習っていて、毎日にぎやかな声が響いています。

ヴァンソンは人形劇クラブに入っていて、毎日練習に励んでいます。人形劇で使う伝統的な人形も子どもたち自身でつくっているのです。



## 人形劇のスター的存在

人形劇はこの地方の伝統芸能のひとつで、昔から大切に守られてきました。

「この地方の昔話は、人形劇を通じて語り継がれているのよ。それに、かわいい人形劇を利用して、みんなに必要な知識を伝える活動もしているの」ヴァンソンが笑顔で教えてくれました。

人形劇で、生活の改善や、子どもの権利などの大切な情報を伝える活動があることを知ったヴァンソンは、昨年からこの人形劇に参加して、一生懸命練習を積んできました。

そしてめきめきと実力をつけて、今や人形劇のスター的存在。人形劇を見た多くの人たちが目を見張るほどのすばらしい演技です。



## 私にできることをしていきたい

「子どもの権利って、とても大切なものだと思うの。子どもが考えていることをおとなに伝えて、おとなと一緒に話し合ったり、力を合わせて行動できれば子どもはもっといろいろなことができると思うわ」ヴァンソンは人形劇を通じて、子どもが元気に成長するために大切なことも伝えていきます。

ラオスでは今もなお不発弾だけがをしたり、命を失ったりする子どもがいます。人形劇で不発弾の恐ろしさを伝えて、見つけても触らないように伝えたり、手足を失った友だちをいじめたり、差別したりしないように伝えることはとても大切な活動なのです。

ヴァンソンは大きな拍手を聞くたびに、これからも人形劇を続けて、自分にできることをしていこうと強く思っています。



<文・構成：(財)日本ユニセフ協会>

ラオスは日本の本州とほぼ同じ大きさで、国土の約70%は高原や山岳地帯です。首都はビエンチャン。人口は約540万人で、約60の民族が存在していると言われる多民族国家です。1893年フランスの支配下におかれました。隣国のベトナム戦争に巻き込まれ、少数民族のモン族はアメリカ兵の身替り部隊として悲劇的な犠牲を強いられました。豊かで多彩な伝統文化を大切にしている国です。

# 子どもが参加する活動を通して、生きる知識を広げる



子どもたちの人形劇活動

©日本ユニセフ協会

## ■ 子どもが参加するユニセフの事業

ラオスは山岳地帯が多い地形のため、交通が非常に不便な国です。少数民族が多く存在するために教育の普及がむずかしい状況にあります。周辺国とくらべても貧しく、5歳未満の子どもの死亡率が高いなど、子どもの状況がきびしくなっています。(表参照)

ユニセフとラオス政府は、こうした状況を改善するために、子どもたちによる人形劇を通して、生活を改善するための知識や方法、子どもの権利についての理解を広める活動を行っています。

日本との比較 (くわしい統計は「世界子供白書2003」をご覧ください)

項目	日本	ラオス
5歳未満児死亡率(2001年)	5人/1000人あたり	100人/1000人あたり
乳児死亡率 [1歳未満](2001年)	3人/1000人あたり	87人/1000人あたり
平均余命(2001年)	81歳	54歳
1人あたりのGNI(2001年)	35,990米ドル	310米ドル

出典：世界子供白書2003

## ■ 子どもたちの積極的な活動

子どもたちは人形劇の活動に参加することでさまざまな知識を得ることができます。劇の内容も自分たちで考え、いろいろと作り変えるなど工夫し、学校内だけでなく、地域で行われるお祭りなどで上演し、地域に対しても大きな役割を果たしています。たとえば、不発弾による被害を防ぐ教育や被害にあった子どもに対する接し方、初等教育の重要性、保健衛生、HIV/エイズの危険性など、「生きていくための知識」を理解し、子どもやおとなたちに生活改善の大切さを伝えていくのです。

ラオスでは子どもが参加するユニセフのプロジェクトが成果を上げています。

(財)日本ユニセフ協会職員が見学した人形劇は不発弾への認識を高める内容でした。太鼓がBGMとして使われており、人形劇が始まると、いつの間にか子どもたちが集まって見入っていました。



大切な知識を伝える人形劇

©日本ユニセフ協会



© UNICEF/Jim Holmes



伝統的な人形劇で使われる人形

© UNICEF/Jim Holmes

### 知っていますか？ ラオスの名産

コーヒーはラオスの重要な輸出農産物です。ラオスコーヒーの主要産地は南部の3県にまたがるポロベン高原で、フランス植民地時代にコーヒー栽培が始まりました。ラオスのコーヒーの飲み方は、他の東南アジアの国々と同じように、甘い練乳をたっぷり入れた上から濃いコーヒーを注ぐのが一般的です。

